

## 平成27年度 第2回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 平成27年11月11日(水) 午後2時00分～午後3時15分

2 場 所 千葉市教育委員会 第一会議室

3 出席者 (委員)

小川直哉会長、増子みき子副会長、人見博彦委員、岡村太郎委員、小川重夫委員、  
五月女重夫委員、深谷康祐委員、山根和子委員、山根英紀委員  
(事務局)

丸島生活文化スポーツ部長、若菜千葉市スポーツ振興財団事務局次長、  
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、木村担当課長補佐、  
菅野主査、内山主査、竹内主事

4 議 題

(1) 報 告

ア スポーツ・レクリエーションに関するWEBアンケート調査結果について

(2) 議 事

ア 千葉市スポーツ推進計画の原案について

5 議題の概要

(1) 報告

WEBアンケート調査の結果報告を行った。

(3) 議事

千葉市スポーツ推進計画の原案については、記載内容の一部を修正することとし、承認された。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【司 会】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「平成27年度第2回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。本日の進行を務めます、スポーツ振興課の山崎でございます。本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。なお、本日は傍聴者はありません。

【司 会】 続きまして、小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川 会長】 本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきまして大変ご苦勞様です。歳を重ねますと季節の移り変わりを早く感じますが、今年も気づけば残り1か月となりました。スポーツ界におきましては、10月にスポーツ庁が正式に発足をいたしまして、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツの一元化が図られております。また、イングランドで開催されましたラグビーワールドカップでは、五郎丸選手の活躍もありまして、日本が南アフリカを破るといふ、画期的な勝利を収めました。さらには、体操男子の日本代表が37年ぶりに金メダルを獲得、つい最近では浅田真央選手が復活金メダルを収めるなど、トップアスリートが世界で活躍する姿というのは、私たちに夢と希望と感動を与えてくれるものでございます。また、

千葉市におきましても、千葉ポートアリーナにて車椅子バスケットボールとウィルチェアーラグビーのアジアオセアニアチャンピオンシップが開催されまして、日本選手が非常に活躍しました。テレビ放映もされましたので、千葉市のネームバリューも上がり、障害者スポーツの推進を目標に掲げていることから、非常に素晴らしいことだったと思います。本日は、スポーツ推進計画の原案の審議ということでございますので、よろしくお願いたします。

【司 会】ありがとうございました。続きまして、生活文化スポーツ部長丸島より、ご挨拶を申し上げます。

【丸 島 部長】本日は、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。先ほど会長からもありましたが、千葉ポートアリーナにて車椅子スポーツの国際大会を開催いたしまして、車椅子バスケットボール、ウィルチェアーラグビーともにリオパラリンピックへの出場を決めるという目覚ましい活躍をみせていただきました。また、テレビでの放映など、大々的に宣伝をさせていただきまして、車椅子スポーツに力を入れている中で非常によかったですと思います。また、健常者のラグビーも五郎丸選手らの活躍によりメジャースポーツとなりつつあり、ますますスポーツが注目されている状況でございます。11月13日にはIPCの総会でパラリンピック競技会場も決定される見通しです。千葉市もこれから障害者スポーツをさらに力を入れていきたいと考えております。本日は、来年度から実施しますスポーツ推進計画の原案の審議ということで、一度素案でご審議いただいたものの修正版となります。今一度確認をしていただければと考えておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いたします。

【司 会】これからの進行につきましては、小川会長にお願いいたします。

【小 川 会長】まず、「議事録署名人」について、先程、司会から説明があったように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

【各 委 員】<異議なし>

【小 川 会長】それでは、議事録署名人として、五月女委員にお願いしたいと思います。

【五月女委員】<了承>

【小 川 会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。

最初に、報告(1)の「スポーツ・レクリエーションに関するWEBアンケート調査結果について」、はじめに、スポーツ振興課よりお願いします。

【事 務 局】<資料1により報告>

【小 川 会長】今の報告について、何かご質問などありましたらお願いいたします。

【深谷委員】Q7の「車椅子スポーツの開催を何で知りましたか」との質問は、当然ながらQ6の「大会を知っているか」で「知っている」と回答した方にも聞いた結果ということでよろしいでしょうか。

【事 務 局】そのとおりです。

【深谷委員】アンケートでは「大会を知らない」との回答が52.7%、「観戦したいと思わない」が53.6%とちょっと際立っているなどののが正直な印象です。私自身、実際に両大会とも観戦をしてきましたが、現場で、生で見ると本当に力強く、車椅子同士のぶつかり合う音など、とても臨場感がありました。これは一度、誰しもがテレビではなく、生で観たほうがいいスポーツだと感じました。千葉市としても、こうした素

晴らしい世界大会を開催していくことが、5年後の東京オリンピック・パラリンピックの成功につながるものと思います。その中で、市民にもっと関心を持ってもらえるよう、市政だよりでの広報だけでなく、幅広くメディア等を使って、もっと多くの方が観戦に来てもらえるようになってほしいと思います。

【事務局】両大会の開催にあたりましては、市民向けに市政だよりでの周知だけでなく、記者への情報提供やメディアに向けても働きかけを行いました。各テレビ放送局にも開催の前から取り上げていただきました。過去の障害者スポーツ大会で、開催前から取り上げられた例はほとんどありませんでしたので、それは非常によかった点です。次回以降もできる限りテレビで取り上げてもらえるよう働きかけを行い、障害者スポーツが皆様に理解され、多くの人に見てもらえるようにしていきたいと思います。

【小川会長】ほかに質問はありますか。なければ次に議事に入らせていただきます。議事「千葉市スポーツ推進計画の原案について」、事務局、説明をお願いします。

【事務局】<資料2により説明>

【小川会長】ただ今の説明について、何かご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

【小川委員】障害者の「害」の字について、協会では「障がい者」のように、ひらがなを使用していますが、この表記について市としては漢字を使用するというのでしょうか。また、障害者スポーツを重点的に取り上げていくということで、千葉市の特色となる施策ということだと思いますが、どちらかという競技スポーツ的な趣向が強くて、障害者と言っても色々な人がおり、千葉県レクリエーション協会では障害のある人もない人も一緒になってできる、車椅子レクダンスのようなものもありますので、そういう視点も必要かと思います。特に2020年まで5年もありますので、レガシーという意味でも障害者と健常者が共に楽しめるような施策を実施してほしいと思います。

【事務局】まず障害者の「害」の字につきましては、最近の傾向としてはひらがなが多くなってきましたが、千葉市の障害者に関する条例や国での表記など、条例・規則での表現は漢字を使用しておりますので、行政として使用する際には漢字を使用するよにとの指導を受けております。健常者と障害者が一緒にできるスポーツということでは、千葉市としてもアスリートだけを育成するというものではありません。健常者スポーツに障害者も一緒にできるような環境づくりを目指していくための事業を実施していきたいと考えております。

【山根(英)委員】千葉国際駅伝が終了し、千葉国際クロスカントリー大会の開催も危ぶまれているような話を聞きましたが、二つの国際大会がなくなってしまうのは千葉市にとっても大きな打撃になるかと思っておりますので、その対策や新たな大規模イベントの開催計画があるのかお聞きできればと思います。

【事務局】千葉国際クロスカントリー大会については、千葉と福岡で同じ時期に国際クロスカントリー大会を実施しておりますが、それぞれの位置づけがあいまいという状況でした。千葉市の大会については、国際という名前を付けておりましたが、近年では海外の選手があまり参加していないという状況の中で、日本陸連にて大会のあり方を検討し、次回の大会から千葉と福岡との棲み分けを行い、国際大会は福岡でということ調整をしているとのこと。国際千葉駅伝についても、昨年度の大会で終了しておりますので、国際と名のつく大会が千葉市からなくなってしまう可能性が高いという状況です。毎年の恒例行事として開催していく国際大会を誘致すると

というのは非常に難しい状況ですが、競技団体等との関係を密にし、情報収集に努め、何かいい大会があれば誘致していきたいと思います。しかしながら、現時点でそういった計画はありません。なお、既存の大会の拡充としまして、自転車レースの幕張クリテリウムという大会があります。現在は幕張公園内をコースとして開催をしておりますが、今後公道を使用した大会に発展をさせていきたいと考えており、現在関係者と話を詰めている状況です。

【小川会長】国際クロスカントリー大会がそのような状況であるということであれば、計画書での表記についても、大会名称と説明文を訂正する必要がありそうですね。

【事務局】訂正いたします。

【五月女委員】国際大会の誘致ということで、車椅子バスケットボールとウィルチェアーラグビーの紹介がありますが、二つとも千葉ポートアリーナで開催されるインドアスポーツです。アウトドアスポーツとして蘇我にもサッカー場などいい施設があり、ソフトボールの世界選手権が幕張で開催されるということが決まったという話もありますので、今後、アウトドアのスポーツ大会、世界規模の大会誘致というのも考えているのでしょうか。

【事務局】ソフトボールにつきましては、日本ソフトボール協会、千葉県、千葉市、関係市と連携して誘致活動を展開し、千葉、静岡、名古屋の3つの会場地が立候補をした中で、最終的に千葉での開催が決定しました。サッカー場については、蘇我電子アリーナを中心とした人工芝のサッカー場や、幕張海浜公園内のJFAナショナルフットボールセンターの建設、また、美浜区の若葉地区に本田圭介選手の所属会社が運営するサッカー場ができる予定となっています。こうした地域資源を活かして、関係団体等と連携をしながらスポーツ大会の誘致をしていきたいと考えております。また、今後は東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京近辺でスポーツ大会を実施したいという要望が強くなっていくことが予想されますので、これをチャンスと捉え、できる限りの誘致をしていきたいと考えております。

【増子副会長】市民参加型のスポーツイベントとして、第22回のスポーツレクリエーション祭をとしてグラウンドゴルフを開催しましたが、参加者が少しずつ減っている状況です。それと同じように家庭バレーボール大会についても前年度に比べると参加人数が減少している状況です。従来どおりのPRをしているのですが、22回もやっているのに、レクリエーションスポーツに飽きているのかなというのがありますが、今後、どのような広報の仕方がよいのか、非常に悩ましい状況です。行政として何かお考えがあれば教えていただきたいのですが。

【事務局】スポーツの選択肢が多くなったということが背景にあると思います。行政として何かできるかというところでは、広報については各種媒体を通じた支援ができますが、それ以外の部分で具体的な支援というのはなかなかできませんので、やはり地域で支えていただいているスポーツ推進委員の方々を中心に、スポーツを通じたコミュニティ形成の活動を行っていただき、仲間を増やしていただきたいと思っております。そのような活動の中で、行政として広報支援や、環境づくりなど、ご相談をいただきながら協力して取り組んでいきたいと考えております。

【増子副会長】スポーツをやっている人はたくさんいらっしゃるのですが、大会などには参加したくないという人が多いのかなという印象です。それと同時に思うのは、自分の好きな時に、好きなスポーツを行うという人が増えているかなと思います。

- 【深谷委員】海浜幕張で開催されたレッドブルエアレースはスポーツの位置づけには入らないということでしょうか。
- 【事務局】経済部門である集客観光課が窓口となって行っている集客イベントという位置づけです。
- 【深谷委員】次回大会の開催はあるのでしょうか。
- 【事務局】集客性がありましたので、経済部門のほうで調整をしているようです。
- 【岡村委員】6ページの計画策定の背景として、「少子超高齢社会」の文言がありますが、説明の際に、「少子超高齢“化”社会」と言っていたと思います。また、8ページには「少子超高齢“化”社会への対応」とありますが、正式にはどちらなのでしょう。また、29ページの事業方針Ⅲ-②で、「“安心して”スポーツを行うための環境づくり」とありますが、確か素案では「“安全に”スポーツを行うための環境づくり」となっていたかと思います。“安心”に変更した理由は何かあるのでしょうか。そして個人的なところで、35ページの委員名簿で私の所属機関を細かく書いていただいているのですが、大学、幼稚園とは関わっていませんので、「君津学園 相談役」だけで構いません。
- 【事務局】「少子超高齢“化”社会」については、もうすでに超高齢社会になったということで、正しくは「少子超高齢社会」となりますので、そのように訂正させていただきます。
- 【小川会長】“超”高年齢社会、「少子“化”」の表現はこれで正しいのでしょうか。
- 【事務局】そのままの表現で正しかったと思いますが、国等を参照し統一した表記といたします。また、事業方針Ⅲ-②は素案でお示ししました「“安全に”スポーツを行うための環境づくり」が正しい表記となりますので、こちらも訂正させていただきます。委員名簿につきましても、そのように訂正させていただきます。
- 【山根(英)委員】千葉競輪場について、2年間の存続が決まったとの話がありますが、その後の進展はありますでしょうか。
- 【事務局】2年間の存続を決めていますが、その後どうするのかということについてはまだ決まっていません。また、廃止するという前提ではありますが、現状では収益的に厳しいという状況ではありませんし、自転車競技団体からの意見等もありますので、総合的に勘案して結論を出すことになるかと思います。
- 【山根(和)委員】以前、千葉公園体育館を障害者スポーツセンターのようなするというような構想があるとお聞きしたのですが、まだ市立の建物は一つもなく、練習する場所がないということで、みんな東京に行って活動をしています。千葉県では稲毛に障害者スポーツセンターがありますが、体育館のみで陸上競技場や競技用のプールはありません。そうなりますと、障害者スポーツを行う環境が整っておらず、アスリートも育ちませんので、ぜひ千葉市に一つ障害者スポーツセンターができるといいと思います。
- 【事務局】確かに障害者の方が優先的に使えるスポーツ施設というのはありません。老朽化した既存の体育館の建て替えて、千葉公園体育館の建て替えてして、総合体育館のようなものをつくらうという構想はありますが、時期についてはまだ未定です。障害者の方も使えるようなものにしていきたいと思いますが、やはり障害者の方が安心してお使いになるには施設面だけでなく医療的なサポートも必要になると思いますので、障害者スポーツセンターのようなものがあると非常に使い勝手がいいと思

ます。稲毛の障害者スポーツセンターも老朽化してきていますので、建て替え等の動向を見ながら、検討していきたいと思います。

【山根(和)委員】例えば車椅子バスケットボールの千葉ホークスについても、床が傷つくということで体育館の使用を断られているようなので、そういったことが平然とあるような体制でいいのかなと思います。そういう中で苦肉の策として淑徳大学の体育館を使って練習をしているような状況です。また、稲毛の障害者スポーツセンターも利用者が多く、なかなか使えないということもありますので、市と県で別にするのではなく、共同して活動できるような場所があればいいと思います。

【事務局】車椅子スポーツの一般の体育館の利用については、以前は床に傷がつくということで利用をお断りしていたことがあります。数年前から障害者も健常者も分け隔てなくスポーツに親しめる環境づくりが必要だということで、指定管理者に対して、車椅子スポーツの利用者に対しても利用を断ることがないようにと指導しています。

【山根(和)委員】しかし実際に使用する際には傷がつかないようにスポーツコートを敷きますよね。

【事務局】そのまま利用できます。

【山根(和)委員】千葉ポートアリーナでは車椅子スポーツなどを行った後、職員が念入りに傷を探していますよね。あれはとても不愉快に感じます。

【事務局】利用する方々が不快な思いをしないように注意していきます。ただ、傷についてはその後の利用に支障をきたさないよう、施設管理という面で確認は必要です。しかしながら、利用者の方に誤解を招くような行為はあってはなりませんので、注意していきます。

【若菜次長】千葉ポートアリーナでは以前は確かに車椅子スポーツをお断りしていましたが、現在では通常の利用と同じようにお使いいただけます。しかし、床面が非常に傷んでしまったときに、翌日に別の大会が入っているときなどに、大きな事故につながってしまったということも他市のスポーツ施設で実際にありましたので、職員がめくれあがっていないかなど、怪我の防止ということで念入りに確認をしている状況ですので、ご理解いただければと思います。しかし、そのことでご不快な思いをさせてしまったということでもありますので、私からも職員に対して注意しておきます。

【小川委員】総合型スポーツクラブについては、千葉市では各区に1つできましたので、行政として今後取り組んでいくようなことはないのですか。

【事務局】千葉市においては各区に1つ、また、自主的な設立としてちばてんだいSVとNP O法人幕総クラブの2つの計8つの団体があります。このため、今後行政として積極的に設立に向けた支援をするということは想定していません。

【小川会長】ほかにご意見などありますか。

【委員】<意見なし>

【小川会長】それでは、千葉市スポーツ推進計画の原案につきましては、承認されるということでよろしいでしょうか。

【委員】<異議なし>

【小川会長】議事については以上となりますが、そのほか何かご質問やご意見などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務

局にお返しします。

- 【司 会】小川会長、議事進行ありがとうございました。最後に、事務局より連絡がございます。
- 【事 務 局】平成27年度第3回の審議会については2月5日（金）を予定しておりますが、確定しましたらご連絡しますので、お忙しとは存じますが、ご出席につきまして宜しくお願いいたします。連絡は、以上です。
- 【司 会】それでは、これをもちまして、「平成27年度 第2回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後3時15分